

第4回定例研究会

「都市文化と箱—都市と文化芸術との新たな関係—」

第4回定例研究会は、大阪府立大学21世紀科学研究機構教授・大阪府立大学観光産業戦略研究所長の橋爪紳也先生をお招きして、「ハコを街に開く ハコモノ行政からハコト行政」「都市ブランド論 水都大阪の試み」「文化のまちづくりへ ハコと街との新しい関係」という内容で講演いただきました。橋爪紳也先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1960年 大阪市生まれ。

京都大学工学部建築学科卒業。同大学院修士課程、大阪大学大学院博士課程修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。大阪府立大学21世紀科学研究機構教授、大阪府立大学観光産業戦略研究所長、社団法人生活文化研究所長、大阪府政策アドバイザー。イベント学会理事、日本ディスプレイ業団体連合会理事など公職多数兼務。

主な著書に、『倶楽部と日本人』『大阪モダン』『祝祭の＜帝国＞』『化物敷』『日本の遊園地』『集客都市』『モダン都市の誕生』ほか多数。

講師

橋爪 紳也 氏（大阪府立大学21世紀科学研究機構教授・大阪府立大学観光産業戦略研究所長）

テーマ

都市文化と箱—都市と文化芸術との新たな関係—

講演日

2009年10月10日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

申し込み

不要